

クラス番号	323	担当教員名	添田 正揮 (そえた まさき)
		他専修学生受入上限人数	5名
テーマ	ソーシャルワークからみた「人間」と「社会」の問題と解決に向けた取り組み		
著書・論文 研究課題等	<p>【著書】 『月刊福祉』連載「数をよみ解く」全国社会福祉協議会 2022年～ (単著) 『これから学ぶ・理解する社会福祉』一藝社、2023年 (共著) 『国際ソーシャルワークを知る 世界で活躍するための理論と実践』中央法規出版、2022年 (共著) 『最新社会福祉士養成講座 (ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]、ソーシャルワーク実習指導、ソーシャルワーク演習)』中央法規出版、2021年 (編者・共著) 『新・MINERVA社会福祉士養成テキストブック④ ソーシャルワークの基盤と専門職』ミネルヴァ書房、2021年 (共著) 『事例で深めるソーシャルワーク実習』中央法規出版、2014年 (共著)</p> <p>【論文】 「多文化ソーシャルワークの観点からみた社会福祉制度・政策の現状と課題」『福祉研究 116号』日本福祉大学社会福祉学会、2023年 (単著) 「多文化共生ソーシャルワークを展開できる専門職の養成教育」『ソーシャルワーク研究 Vol.46(No.1),40-5』2020年 (単著) 「グローバリゼーション時代における日本で生活する国際移住者に対する生活支援システムの構造-セーフティネットとソーシャル・キャピタルの連動に着目して-」『川崎医療福祉学会誌 Vol.26, No.2』2017年 (単著) 「ソーシャルワーク教育における文化的コンピテンシと多様性」『川崎医療福祉学会誌 Vol.22, No.1』2012年 (単著)</p> <p>【研究テーマ】 グローバリゼーション時代におけるソーシャルワークの価値基準・実践・教育・コンピテンシー 人間の多様性や外国にルーツがある人々へのソーシャルワークと支援システム</p>		

ゼミナール概要

キーワード：ソーシャルワーク、人間の多様性、グローバリゼーション、海外スタディツアー

<目標>主に以下の目標を達成できるようサポートしていきます。

- 社会人および専門職に求められる「対話力」「考え抜く力」「前に踏み出す力」「チームで働く力」を身につける。
- 自分と仲間の可能性や力に気づき、それを互いに刺激し合いながら伸ばし、広げる。
- グローバリゼーションや国際化が進展する社会において求められる力を身に付ける。
- 様々な人間や取り巻く社会の問題をソーシャルワークの観点から考え、行動する。
- 就職や国家試験の受験に打ち込むことができる。

<内容>

現代の社会では、人と環境との複雑な関係性の中で様々な問題が発生しているため、幅広い視点で現象を捉える力が求められます。グローバリゼーションや国際化の考え方を学び、これからの社会や人々の変化に対応可能なソーシャルワーカーを目指して様々なゼミ活動を行っていきます。ゼミを通じて、講義科目と演習・実習科目をつなぎ合わせ、習得した知識を実際に活用し、問題解決のプロセスを実感できるようなプログラムを展開します。

<方法と授業計画>

3年生前期：図書館の活用、文献の輪読、ディスカッション、プレゼンテーション

3年生後期：卒論テーマの選定、卒論の書き方、テーマに関する個別発表またはグループ発表、海外スタディツアー

4年生：卒論執筆・指導 (①文献調査・研究・発表、②事例研究、③グループ作成)

※研究方法や論文作成の基本を学習したうえで、海外スタディツアーでのフィールドワークを踏まえて論文を執筆することを想定しています。

担当教員からのメッセージ



- みなさん、こんにちは。よろしくお願ひします。ゼミでは、皆さんが自分の可能性や力に気づき、協力しながら成長していける機会や場となるようにしたいと思います。
- 私は、これまで、社会福祉協議会、厚生労働省、教育機関においてソーシャルワーカーという自覚をもって実践してきました。また、人身取引やDV被害を受けた外国籍女性や子どもを支援するNPOに関わっています。
- このような経験をふまえて、マイクロ・メゾ・マクロレベルといった幅広い視点から、国内・国外の社会福祉問題に取り組んでいきます。具体的には、3年生の2～3月頃に海外スタディツアーを予定しています。
- 大学での経験は、人生を歩んでいくうえで重要になると思います。皆さんが自分の力に気づき、それを発揮できるような学習・教育プログラムを提供することが、卒業後の可能性や選択肢を広げることになると考えています。ゼミでは、卒業時に「視野や世界が広がった」「ソーシャルワークを学んだ」と自分なりに語るができるようサポートします。積極的に参加し、一緒に楽しんでいきましょう！